

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	8月30日(火)	福岡県	漁船	転覆
	8月31日(水)	長崎県	漁船	運航不能
	8月31日(水)	福岡県	漁船	浸水
	9月1日(木)	長崎県	漁船	火災
	9月3日(土)	福岡県	貨物船	衝突
	9月3日(土)	福岡県	漁船	衝突
	9月4日(日)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	9月3日(土)	大分県	マリレ以外の海浜事故	海中転落
	9月3日(土)	大分県	マリレ以外の海浜事故	海中転落

係留作業中の事故発生

【問合せ先】

第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
TEL：093-321-2931（内線2640）

【事故事例】

令和4年9月5日10:00頃、事故者は台風接近に伴い、漁船の船固めを行うため、単独で漁港に向かった。事故者は、係留索を対岸のポンツーンへ取るため、係留索を体に巻き付け、着衣のまま、泳いで向かっていたところ、途中で力尽き、溺水したもの。

また、事故者はライフジャケットを着用していなかった。



作業時の注意事項

・複数人で作業しましょう。

係留作業等を行う場合は、出来る限り単独行動は避け、家族や知人等と一緒に作業を行いましょう。複数人で作業を行っていれば、海中転落や負傷等に陥ってしまった場合、すぐに救助要請ができます。どうしても単独で作業する場合は、第三者に作業計画(帰宅時間等)を伝えておきましょう。



・適切な装備で作業しましょう。

海辺の近くで作業をする場合は、ライフジャケットを必ず着用しましょう。また、雨や波しぶきにより、甲板上や岸壁上が濡れて滑りやすくなっている可能性があるため、滑り止め効果の高い靴を履きましょう。

いざという時のために、携帯電話を身に付けておきましょう。



⚠️ ひとつひとつの作業を確実にいきましょう。

負傷や海中転落の原因のほとんどが「これさえしておけば・・・」というものばかりです。「係留索を踏んでなければ・・・」「タラップを渡るときに手摺りを掴んでいれば・・・」「船に飛び乗らずゆっくりと乗っていれば・・・」等、事故者の反省の弁をよく聞きます。

慣れた作業であっても、今一度作業手順を確認し、事故なく安全によろしくお願いします。

ご安全に！

